

はいのかぜ 南風

編集・発行

上甕中学校 P T A 研修部

所在地・連絡先

薩摩川内市上甕町中甕 191 番地 1

09969-2-0014

卒業に寄せて

保護者から子どもたちへ

島立ちと未来

十五の春、島を立つ三年生の皆、愛樹へ。卒業おめでとう。

同じ教室、同じ仲間、何よりも甕島の恵まれた環境で過ごした時間はかけがえのない人生の一部です。愛樹にとっても、皆に助けられ、すばらしい十五年でした。

名前のように、人に愛され、樹木のようにたくましく成長してくれたことはとても嬉しく思っています。その反面、いつ身長を追い越されるかとドキドキしています。そう思う度に、十五年はあっという間で、もっと色々してあげれば良かったと少し後悔しています。愛樹は高校三年間、一片の後悔がないように、思い出の一つたりとこぼさないよう、毎日を大切にしたいです。

今は不安なことばかりだと思ふけれど、その何倍も楽しいこと、多くの仲間、甕島で経験できなかったことが待っています。辛いことだってあるだろうけれど、愛樹なりに正しいと思うことを自信を持ってしてください。少し遠いところから応援しているから、今のままの自分でいいから。愛樹、胸張って行ってください！

最後に、今まで見守ってくださった先生方、地域の皆様、本当にありがとうございます。

(卒業生保護者 梶原 健太)

卒業

今まで響希を見守り、支えてくださいました先生方、クラスメイト、先輩、後輩、地域の方々、本当にありがとうございます。お陰様で充実した学校生活を送ることができ、そして無事に卒業を迎えることができました。少し変わり者で頑固で付き合いの苦手だった響希でしたが、学年が上がっていくごとに、また、大きな行事を終えるごとに成長していくことができました。運動会では応援団長として活躍したり、上中祭では漫才を披露して笑わせたり、ドラムを演奏する姿もカッコよかったです。仲間と力を合わせてたくさんを成し遂げ、絆を深めることもできたと思います。進学し親元を離れての生活が始まりますが、仲間との絆や、周りの人達の想いを支えに頑張りたいと思います。でも、頑張るだけじゃなくてこれから始まる新しい生活、出会い、出来事を楽しんでほしいとも願っています。自分の目標に向かって一步一步、響希のペースでいいので進んでいってください。応援しています。

最後になりましたが、皆さんにはこれからも響希の成長を見守っていただけたらうれしいです。姿を見かけたら声をかけてください。

(卒業生保護者 川畑 富貴子)



島立ち

楓、卒業おめでとう。

長かったようで、あつという間の十五年間でした。初めての子育て、親として不安だらけの十五年間でしたが、多くの人たちとのすてきな出会いに恵まれ、楓とともに学び、いろいろな経験をする事ができたこと、とてもうれしく思います。中学生になつてからの楓は、何事にも一生懸命頑張り心身ともにしつかりとした姿を見せてくれました。卒業を迎えるにあたり、幼稚園からずっと一緒に成長してきた6人の、心温かい学年でよかつたと心より思います。

とうとう島立ちのとき、少し寂しい気持ちもあるけれど、それ以上に楓の成長を誇らしく感じます。「自分がされて嫌なことはしないこと。」「何事にも感謝する気持ちを忘れないこと。」「十五年間、ずっと言い続けてきた言葉を忘れずに高校でも楓らしく歩んでいってください。いつも応援しています。」

これまで温かく見守り、ご指導頂きました先生方、支え続けてくださった地域、保護者の皆様、楓とともに過ごしたお友達に、大変感謝しています。ありがとうございます。

(卒業生保護者 小村 まどか)

希望に満ちた島立ちを！

優磨、卒業おめでとう。

いよいよ島立ちの時ですね。振り返るとあつという間の十五年。けれど、甕島で過ごした日々は優磨にとってこれからの人生のしっかりとした土台になつていくことだと思います。小さい頃からマイペースで叱られることもありましたが、中学校で剣道に

出会い、心も体も立派に成長していきました。そしていつの間にか、しっかりと自分の意志を持つようになつていたことに、親としては頼もしく、そして心から嬉しく思います。剣道を続けたいと選んだ厳しい道、誰が何と言おうとぶれることなく決めた道。どうか勇敢に胸を張り朗らかに堂々と進んでください。そして忘れないでくださいね、優磨の健康や幸せを毎日祈っている家族がいることを。大丈夫！希望をもって優磨らしく高校生活をいきいきと楽しく過ごしてください。

最後になりましたが、これまでご指導頂きました諸先生方、温かく見守り優しく声をかけて頂きました地域の皆様から感謝いたします。そして、幼い頃から一緒に過ごしてきた同級生の皆さんのこれからの高校での活躍を心より祈っています。島んちゆ魂でがんばれ！ (卒業生保護者 中尾 理香)

卒業を迎えて

好、卒業おめでとう！

中津幼稚園入園から十二年。月日が過ぎていくのをとても早く感じています。

鹿島と上甕、すぐそこに見えているのにとっても遠くと一緒に過ごす時間がなかったことを、寂しく思っています。でも、大きな病気やけがもせず、学校生活は勿論あらゆる活動にも参加し、逢う度に、身長も伸び成長している様は嬉しく、そして励みになりました。新天地でもたくさんさんの友を作り今日まで培ってきたことを土台に自分の夢や希望に向かってさらに努力してほしいです。とはいえ、挫けそうになつたり小言を言いたくなつたりしたときは帰ってきてね。あと、健康第一でお願いします。

卒業を迎えて

最後になりますが、この場をお借りして、先生方、地区の皆様、保護者の皆様、そして、学業を共にした先輩や後輩、同期の皆さん、心よりお礼申し上げます。(卒業生保護者 小村 茂)

野口家の三女の優花は、姉の島立ちを一人、また一人と見送ってきました。その度に家の中の活気が減つていき、寂しい思いもしてきました。そして、とうとう自分の島立ちを迎えるのですね。

甘えん坊で恥ずかしがり屋だったけれど、いつの間にかしっかりと屋さんに成長してくれました。私が姉たちの引越しや病気の介抱等で家を空けることが度々あり、優花にもずいぶん負担をかけてしまいました。帰ってくるといつも通りの我が家がそこにあり感謝したものです。

服や音楽等、姉たちの影響を受け、真似をしたがりました。小さい頃はお下がりを喜んでいましたが、三女の宿命で持ち物はお下がりがばかり。使い込んだスクールバッグに着古した制服、皮の捲かれた補助バッグ、ノートも姉たちの使いかけでかわいそうだったけれど、文句を言いながらよく辛抱してくれました。だから物を大切に作る心も育ってくれたはずですよ。

たくさんさんのことを学び成長できたのは、周りの皆様のおかげです。感謝の気持ちを忘れず高校でも頑張ってくれると信じています。

最後に、支えてくださった先生方、地域の皆様、クラスの仲間、本当にありがとうございました。

(卒業生保護者 野口 みゆき)

中学校三年間を振り返って

自分の三年間

梶原 愛樹

あつという間の三年間でした。一年生の頃、先輩からは、「あつという間だよ。」などと言われていましたが、当時の僕は信じていませんでした。ですから、一年生の頃は時間を忘れて中学校生活を楽しんでいました。

そして、二年生になり先輩になりました。もちろん一年生の時よりも自分の力だけで行動することが多くなりました。卓球部のキャプテンになりましたが、自分の指示不足のせいで全員に迷惑をかけることもありました。そのときは、自分が何をしていたのかわからずキャプテンを辞めた方がいいのではないかと思いました。しかし、最後の卓球部の反省会でみんなから「愛樹さんありがとう。」という言葉をもらい僕は涙が出そうになりました。その時に自分がしたことは無駄ではなかったと思うことができました。

三年生になり、最高学年となりました。振り返ってみると先輩から言われた言葉は本当だと考えさせられました。時間が短く感じられました。しかしその分、色々な思い出が詰まった三年間でした。



三年間の思い出

川畑 響希

長いようで短かった三年間。振り返ってみると、入学して緊張していた頃がつい昨日のように感じます。僕の三年間は、とても中身が濃いものになったと思います。

特に運動会では一

・二年は赤団で、演舞のときは太鼓をしていましたが、三年では、白団の団長として、みんなを導かなければならないという大きな役割を任せられました。先頭に立つのは初めてで、とても大変でした。少しケンカをしたり、後輩の指導がうまくいかなかったりなど、いろいろありましたが、本番までに演舞が完成できました。そして、優勝することができました。その後の解団式で、「このメンバーで優勝することができて良かった」と言ったことは、今でもはっきりと覚えています。

嫌だったことでも、今となってはどれも良い思い出だと思っています。これからもさまざまな出会いを通して、精進していきたいです。

海風を通して伝えたいこと

小村 楓

中学校生活三年間で一番心に残っていることは生徒会長として頑張ってきた日々です。ちょうど七十



代目生徒会長と気付いたとき、歴代の先輩の思いや上甌中学校の特色でもある仲が良く明るい学校を引き継がないといけないプレッシャーを強く感じました。

特に海風が四十一周年を迎え、新聞コンクールでは、六十八代目が三席、六十九代目が佳作と近年では二席以上をとっていないため七十代目の僕がとらないといけない責任感がありました。しかし、結果は佳作。うれしいことではありましたが、とても悔しく思いました。しかし、海風製作に携わり二年と半月の中でも一番読んで楽しく感じ、作っている方も楽しい一年となりました。

共に海風を作りあげてきた先輩や後輩、アドバイスをくださった先生方、使用済切手収集に協力し海風を読んでくださったという地域の方々には感謝の言葉しかありません。また、今後の中学校と後輩たちの健康と活躍を願っています。

甌島への恩返し

中尾 優磨

長かった甌島での生活が終わり、四月から高校での生活が始まります。今僕は、島立ち後の生活を考え、期待と不安が入り混じっています。また、故郷を離れる寂しさも強く感じています。

僕は、これまでの十五年間、人生のほとんどを甌



島で過ごしてきました。そして、家族だけでなく、地域に、島に育ててもらったと思っています。その恩を、今度は自分が返す番です。高校での勉強、部活動に真剣に取り組んで充実した生活を送り、建築士になるという夢を叶えて、甕島に帰ってきたと思います。そして、甕島をより住みやすく、暮らしやすい島にしたいです。それが、僕にできる精一杯の恩返しだと思っています。

甕島での生活を振り返ってみると、家族はもちろん、友達や学校の先生方、地域の方々にもたくさんお世話になりました。その中の一人でも欠けたら、今の自分はないと思います。甕島で出会ったすべての人への感謝を胸に、これからどんなことがあっても乗り越えていきたいです。



決意を胸に

小村 好

島で育ってきた十五年間、本当にあつという間でした。特に上中生として過ごした三年間は、入学したのが一週間前のことのように本当に短く感じます。一年生になっていろいろなるころから「島立ち」という言葉がよく出てくるようになりましたが、わたしは「まだ一年生なのだから、別に今考えなくてもいいだろう。」と思っていました。しかし、三年間はあつという間に過ぎ、自分の将来について真剣に考

える時期が私にも訪れました。そのときにわたしはたくさんの人から支えられ守られてきたこと、そして、その優しさに自分が甘えてしまっていたことに気が付きました。だから、

そんな未熟な自分を鍛え、磨き直すために、そして自分の意志を強くもち、たくましく心優しい人になれるように、新しい環境で頑張っていこうと思います。先のわからない未来に不安もありますが、胸を張って大好きな甕島と大切な家族の元に帰ってこられるようにしたいです。今まで、本当にありがとうございました。

六人で過ごした思い出を胸に

野口 優花

中学校三年間、本当にあつという間でした。入学した当初は、不安でいっぱいでしたが、姉がいたため、何でも頼りにできました。二年生になると、学校の中心となり、生活部長や海風の班長を任せられ、毎日自分の仕事をこなすことがとても大変でした。しかし、今思えば経験してきたよかったです。三年生では、中学校最後となる行事がどんどん終わっていき、気がつけば卒業式・島立ちも目前に迫ってきています。まだ、高校は決まっていますが、四月からの高校生活は不安なく、新しい仲間と一緒に過ごせることや新しい体験をできることに心が期



待で満ち溢れています。幼稚園の頃からずっと一緒だった六人。一人一人が個性溢れる六人。毎日笑い声が聞こえていた教室。毎日が本当に楽しかった…。

これからは六人バラバラになりますが、ずっと、心はひとつだと思えます。どんなことがあっても、みんなと過ごした思い出を胸に頑張っていきたいと思います。



平成 29 年度 受 賞 記 録

・入選	・特選	◆ 県児童・生徒 ゆめ立体・彫刻展	◆ 市英語発表会	◆ 市理科作品展	◆ 市児童生徒作文コンクール	◆ 市特選	◆ 市入選	◆ 鹿児島県国画作品展	◆ 俳句部門	◆ 書道部門	◆ トンボロ芸術村 コンテスト	◆ 絵画部門
・優良賞 ・優良賞 ・優良賞	・特選 ・特選 ・特選	・1年 岩崎隼人 ・2年 内山翔斗 ・3年 中尾優磨	・1年 濱邊香乃 ・3年 野口優花 ・2年 家吉真央	・特選(岩石標本) ・特選(研究記録) ・入選	・1年 小村好 ・2年 家吉真央 ・3年 西愛麗	・市特選 ・市特選 ・市特選	・市入選 ・市入選 ・市入選 ・市入選 ・市入選 ・市入選	・鹿児島県国画作品展 ・鹿児島県国画作品展 ・鹿児島県国画作品展	・俳句部門 ・俳句部門 ・俳句部門	・MBC南日本放送賞 ・MBC南日本放送賞 ・MBC南日本放送賞	・トンボロ芸術村 コンテスト ・トンボロ芸術村 コンテスト ・トンボロ芸術村 コンテスト	・絵画部門 ・絵画部門 ・絵画部門
1年 西愛麗	1年 中尾歩 2年 栢木琴奈 3年 家吉真央 3年 小村楓	1年 岩崎隼人 2年 内山翔斗 3年 中尾優磨	1年 濱邊香乃 3年 野口優花 2年 家吉真央	2年 中尾蓮夢 3年 中尾優磨 2年 家吉真央	1年 小村好 2年 家吉真央 3年 西愛麗	2年 家吉真央 1年 岩崎隼人 1年 中尾歩 1年 濱邊香乃 3年 栢原愛樹 3年 川畑響希 3年 野口優花 2年 中尾蓮夢 2年 栢木琴奈	2年 中尾蓮夢 2年 家吉真央 2年 中尾蓮夢 2年 中尾蓮夢 2年 中尾蓮夢 2年 中尾蓮夢 2年 中尾蓮夢	3年 野口優花 1年 濱邊香乃 1年 濱邊香乃 1年 濱邊香乃 1年 濱邊香乃 1年 濱邊香乃	2年 野口優花 1年 濱邊香乃 1年 濱邊香乃	1年 濱邊香乃 1年 濱邊香乃 1年 濱邊香乃	2年 家吉真央 2年 栢木琴奈 1年 西愛麗 1年 濱邊香乃	2年 家吉真央 2年 栢木琴奈 1年 西愛麗 1年 濱邊香乃

◆ 剣道 昇段審査 ・二段合格(小村楓 中尾優磨) ・初段合格(山下太史)	◆ 漢字検定 ・3級 (家吉真央 栢木琴奈) ・4級 (西愛麗)	◆ 英語検定 ・準2級 (中尾優磨) ・3級 (川畑響希 小村好 家吉真央) ・4級 (小村楓 野口優花 山下太史) ・5級 (岩崎隼人 栢木琴奈) (西愛麗 濱邊香乃)	◆ テープ審査の部 ・金賞 全校生徒	◆ 県「春の祭典」 ・卓球 男子団体戦Ⅱ部 優勝 宮之城中と合同 1年男子個人 2位 1年 岩下聖也 2年男子個人 5位 2年 内山翔斗	◆ 川薩地区新人総体 ・剣道 団体3位 海陽中と合同 ・卓球 男子団体戦Ⅱ部 優勝 宮之城中と合同 1年男子個人 2位 1年 岩下聖也 2年男子個人 5位 2年 内山翔斗	◆ 川薩地区中体連 ・陸上1年女子100m 8位 1年 西愛麗 共通女子砲丸投げ 8位 2年 栢木琴奈 卓球 男子個人 12位 3年 川畑響希 男子個人 13位 3年 栢原愛樹	◆ 子ども綱引応援旗デザインコンテスト ・商工会議所会頭賞 2年生制作	◆ 明るい選挙啓発習字コンクール ・入選 中尾蓮夢	◆ 県統計グラフコンクール ・学校賞 2・3年生 栢木琴奈 ・佳作 2年 家吉真央 2年 栢木琴奈	◆ 日本赤十字社鹿児島県支部第6回百文字作文コンクール ・銅賞 3年 小村楓 ・入選 3年 小村好 2年 家吉真央	◆ 「あいさつ運動」ポスター・標語コンクール ・優秀賞 標語の部 2年 中尾蓮夢 ・「歯と口の健康週間」図画・ポスター展 2年 家吉真央	◆ 金賞 2年 家吉真央	◆ 「一歯と口の健康週間」図画・ポスター展 2年 家吉真央
---	--	--	-----------------------	---	---	--	--	------------------------------	--	--	--	--------------	-------------------------------

平成29年度卒業短歌

決意する 愛しい島に別れ告げ

輝く未来へ いざ進まん

梶原 愛樹

とびたとう あふれる想い この胸に

響け未来へ 希望の音色

川畑 響希

楓進め島への感謝 忘れずに

夢見る世界の扉めざして

小村 楓

優しさを 磨きこの道凍と立つ

理想の自分へ 歩み晋まん

中尾 優磨

広大なまだ見ぬ世界へ 歩みだそう

家族がくれた 好を抱いて

小村 好

美しき希望の花よ 舞い上がれ

輝きあふれる 未来へ向かって

野口 優花